

## 令和5年度シラバス（音楽Ⅱ）

教科	芸術（音楽Ⅱ）	単位数	2 単位	学年	2 学年
使用教科書	教育芸術社 MOUSA 2				

### ◎学習計画

学 期	学習内容	学習のねらい	備考 学習活動の特記事項
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既習曲「夢の世界を」「翼をください」「ピリーブ」「ハナミズキ」</li> <li>●オリエンテーション</li> <li>●「明日へのマーチ」「ハナミズキ」</li> <li>●校歌を歌おう</li> <li>●いろいろな国の歌曲を歌おう</li> <li>●音の響きや表情を感じ取って演奏しよう</li> <li>●西洋音楽の鑑賞 水の戯れ/水に映る影/レクイエム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で愛唱した曲を楽しく歌い、音楽の仲間と授業へ導入を図る。</li> <li>・1年間の授業のオリエンテーションを行います。(授業内容、評価、取組について)</li> <li>・1年間の音楽の旅のスタートを日本のポップスに定め、j-pop の名曲を味わう。</li> <li>・校歌を知り、歌おう。歌詞の意味や言葉の意味を味わい歌う。</li> <li>・歌曲にふさわしい発声法を身に付け、歌詞の内容や言語の特徴などを理解し、イメージをもって歌う。</li> <li>・リコーダーやギターの特徴を理解し、基礎的な奏法を身に付け、音色や奏法の特徴を生かして演奏する。</li> <li>・音楽の鑑賞を通して、声や様々な楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取る</li> <li>・音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解する</li> <li>・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解する。</li> <li>・鑑賞した後に、感じ取ったことなどをまとめて発表し合い、理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏の 流れ、声量、音程、姿勢、口形が評価</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実技テスト「校歌」「明日へのマーチ」「ハナミズキ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱テストを行う。</li> </ul>	の観点となる
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●舞台音楽を楽しもう Tonight/椿姫/夕鶴/ウエスト・サイド物語/レ・ミゼラブル/くるみ割り人形</li> <li>●我が国や郷土の伝統音楽への理解を深めよう 涙そうそう/ていんさぐぬ花 斎太郎節</li> <li>●世界の諸民族の音楽を通して、音楽文化についての理解を深め、自己の音楽観を広げよう</li> <li>●実技テスト 独唱</li> <li>●音楽ファイルの記録をもとに、各題材ごとに「学習のまとめ」を行い、自己評価。</li> <li>●期末試験の筆記テスト</li> <li>●音楽ファイル提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オペラ、ミュージカル、バレエなどをその背景となる文化や歴史を理解して鑑賞するとともに、その中の声楽曲の歌唱を通して、舞台作品の音楽表現の特徴を理解する。</li> <li>・我が国や郷土の伝統音楽の特徴を理解するとともに、歌唱法や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫する。</li> <li>・世界の諸民族における声や楽器による音楽や、身振りを伴う音楽の特徴を理解するとともに、表現を工夫する。</li> <li>・今学期に歌った曲の中から1曲を選び、独唱の実技テストを行う。</li> <li>・これまでのファイルのまとめを行い、提出する。</li> <li>・2学期に学んだ内容について</li> <li>・鑑賞シートの記述内容、学習のまとめを提出物評価とする。</li> </ul>	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>●表現を工夫し、独唱や重唱、合奏をしよう アンパンマンマーチ</li> <li>●ポピュラー・ソングを歌おう</li> <li>●1年間のまとめとして、グループに</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独唱や重唱、合唱という表現形態の学習や鑑賞を通して、各声部の役割を理解するとともに、表現を工夫して歌う喜びを味わう。</li> <li>・発声や表現上の効果を理解し、主体的に工夫して歌う喜びを味わう。</li> <li>・歌唱、器楽、創作の様々な表現形</li> </ul>	

	よるアンサンブル・コンサート	態の中からグループごとに楽曲を選び、音楽表現を主体的に工夫して発表する。	
--	----------------	--------------------------------------	--

## 評価の観点・方法

授業態度、提出物、準備物、筆記テストを総合的に評価します。

### 主な観点

授業態度 学習課題（教材）に真面目に取り組んでいるか、遅刻せずに授業に出席しているか

提出物 毎回、確実に提出しているか

準備物 教科書、ファイル、筆記用具等を忘れずに持ってきているか

実技 正しいリズム、表現の工夫、正しい指使い（ギター、三線）

学習の最初と終わりで向上がみられるか

○各学期のまとめとして、その学期で学んだ内容についての筆記テストを行います。

### 学習のポイント

授業に取り組む姿勢も評価に大きく影響します。苦手な分野でも自分なりに教材に取り組むことを期待します。

確かな学力を身につけるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱では、「声の音楽」を表現して味わうことを目指しています。声は自分だけが使える生きた楽器であり、精神状態と深い関わりがあるため、自分の意識のコントロールがとても大切です。また、発表などで人に聴いてもらうなど、客観的なフィードバックを行うとよりよい表現を行うことができます。</li> <li>・鑑賞活動では、一つ一つの曲に込められた歴史やドラマを想像することが大切です。</li> </ul>
授業を受けるにあたって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表が中心となるので、計画性が求められます。着実な準備を心がけましょう。</li> <li>・プリントなどの提出物が多くあります。丁寧に記入すること、期限を守ることが大切です。</li> <li>・グループ活動も多くあります。協力して学習・表現活動を行うことが大切です。</li> </ul>